

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	離散数学第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Discrete Mathematics I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	國廣 昇		
居室	総合研究棟927		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kunihiro@ice.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
「離散数学第一」の講義内容をより深く理解し、その知識を種々の問題に応用できるようにすることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
「離散数学第一」に同じ。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
(a) 授業内容：内容は「離散数学第一」と同じであるので、そのシラバスを参照すること。(b) 授業の進め方：履修者が自分で演習問題を解き、レポートを提出する。授業中は随時質問に応ずる。レポートは可能な限り採点して返却するので、それを模範解答と照らし合わせて、理解の度合いをチェックし、不十分な箇所をより確かなものにする。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：成績評価は，レポートの評点，出席状況，「離散数学第一」の成績等に基づいて行う．(b) 評価基準：「集合と写像」，「論理」，「数学的帰納法」，「同値関係」，「順序関係」などの基本概念を理解していることをもって合格基準とする．

### 【オフィスアワー：授業相談】

実施する予定である．詳細に関しては，授業関連ホームページを参照すること．

### 【学生へのメッセージ】

「離散数学第一」の講義を理解し，それを自分のものとして応用できるようになるためには，できるだけ多くの演習問題を解くことが望ましい．また，それにより数学に対する興味も深まる．演習の時間を十分に活用し，基礎力の向上につとめて欲しい．

### 【その他】